

4. 上位・関連計画の整理

那須塩原市にかかる上位・関連計画を整理する。

(1) 国・県・広域圏の計画

首都圏整備計画・大田原都市開発区域

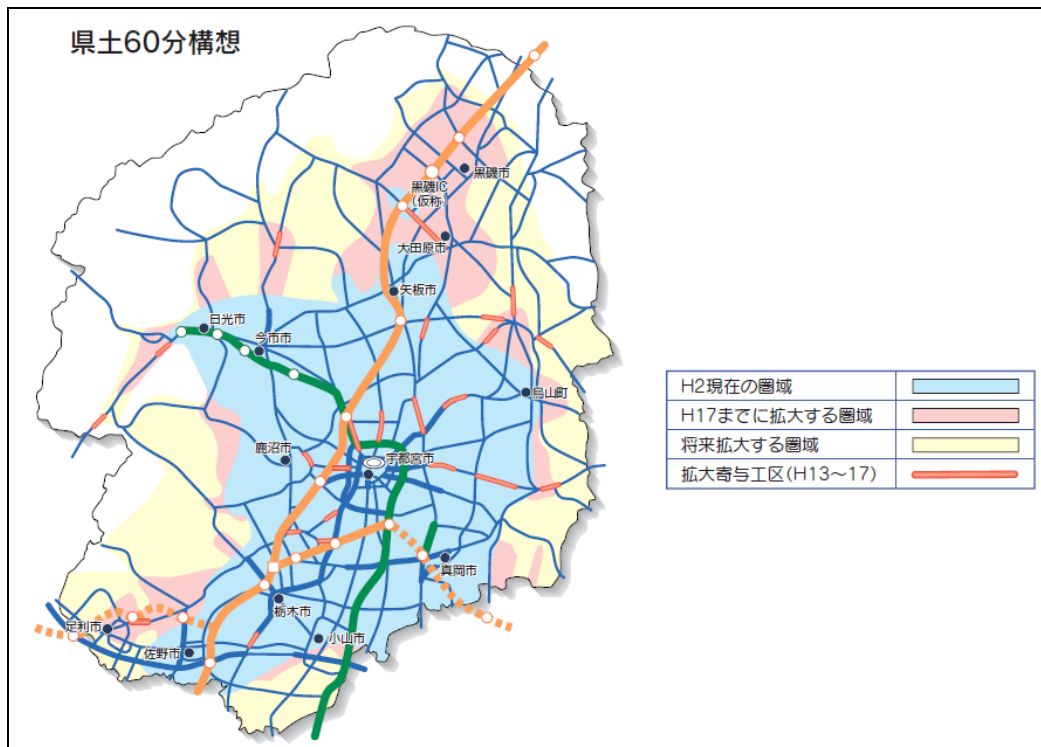
東北新幹線、東北縦貫自動車道等の高速交通網をいかして工業機能等が集積するとともに、那須野が原の緑豊かな自然環境を有しているため、東北縦貫自動車道に新たに整備されるインターチェンジ等を活用し、精密機器等の高度技術産業の集積を図る。

S45年5月指定：大田原市・西那須野町・塩原町 平成13年10月26日決定

とちぎ将来構想

- ・国際・国内競争力の強化
(IC周辺の物流拠点を支援するアクセス道路整備)
- ・広域交通ネットワークの構築や地域の実情に応じた交通基盤の整備
(高規格道路、環状道路の整備促進、ボトルネック箇所の解消、TDM 施策の推進、県土60分構想、ICアクセス30分構想)
- ・観光交流の促進
(地域住民やNPOとの協力による観光渋滞対策)
(H15年3月：栃木県)

県土60分構想



今後の道づくりの3つの基本目標と2つの基本姿勢



3つの基本目標

暮らしやすさを支える道づくりを進めます

県民が安心、安全、快適に日常生活を送れるように、すれちがいのできない狭い道路や急カーブを解消するほか、道路の防災対策やバリアのない歩行者空間の整備、通勤通学時の渋滞対策などを進めていきます。

- ◆病気や怪我や災害から暮らしを守る道づくり
- ◆事故のない安全な生活を支える道づくり
- ◆渋滞のない快適な移動を支える道づくり
- ◆日常を支える道づくり
- ◆“ひと”にやさしい道づくり
- ◆多様な移動手段を支える道づくり



県土の活力を高める道づくりを進めます

県の主要な産業である製造業の国際競争力の強化や、国際的観光地の観光産業の振興、県内の経済・文化・教育などの交流促進のため、高速道路や幹線道路による体系的な道路ネットワークを構築することにより、県内外の各地域間の交流や連携を図る道づくりを進めていきます。

- ◆県内産業の競争力を高める道づくり
- ◆県内外との交流・連携を高める道づくり
- ◆観光地の魅力を高める道づくり



魅力ある街や地域を創る道づくり

道路整備により創出される道路空間を有効に活用することで、自動車、歩行者、自転車、公共交通機関の利用者などあらゆる道路利用者の安全性と利便性を高めるとともに、中心市街地の活性化計画などのまちづくり計画や、地域振興プロジェクトなど地域づくりの計画等と一体的な整備を図ることで、街や地域の魅力を高める道づくりを進めていきます。

- ◆機能的で暮らしやすい都市を形成する道づくり
- ◆地域の活性化を支援する道づくり
- ◆美しい街や個性的な地域を形成する道づくり



2つの基本姿勢

環境にやさしい道づくり

騒音や大気汚染等の沿道環境の改善や、様々な動植物の生息・生育空間である森林、農地、里山、水辺などの自然環境の保全に配慮した道づくりを進めていきます。

- ◆沿道環境の改善
- ◆自然環境への配慮
- ◆地球環境への貢献



県民参加の道づくり

計画段階から整備後の道路の維持管理活動など、道路整備の各段階において住民参加を進めていきます。また、生活の視点に立った分かりやすい指標を用いて整備効果を公表し、道路事業の透明性を確保していくと同時に、県民のニーズに応じて、投資する事業の重点化を図り効率的な道づくりを進めていきます。

- ◆道づくりへの県民参加と透明性の確保
- ◆道路管理への住民参加
- ◆投資の効率化



(2) 新市建設計画

■新市の将来像

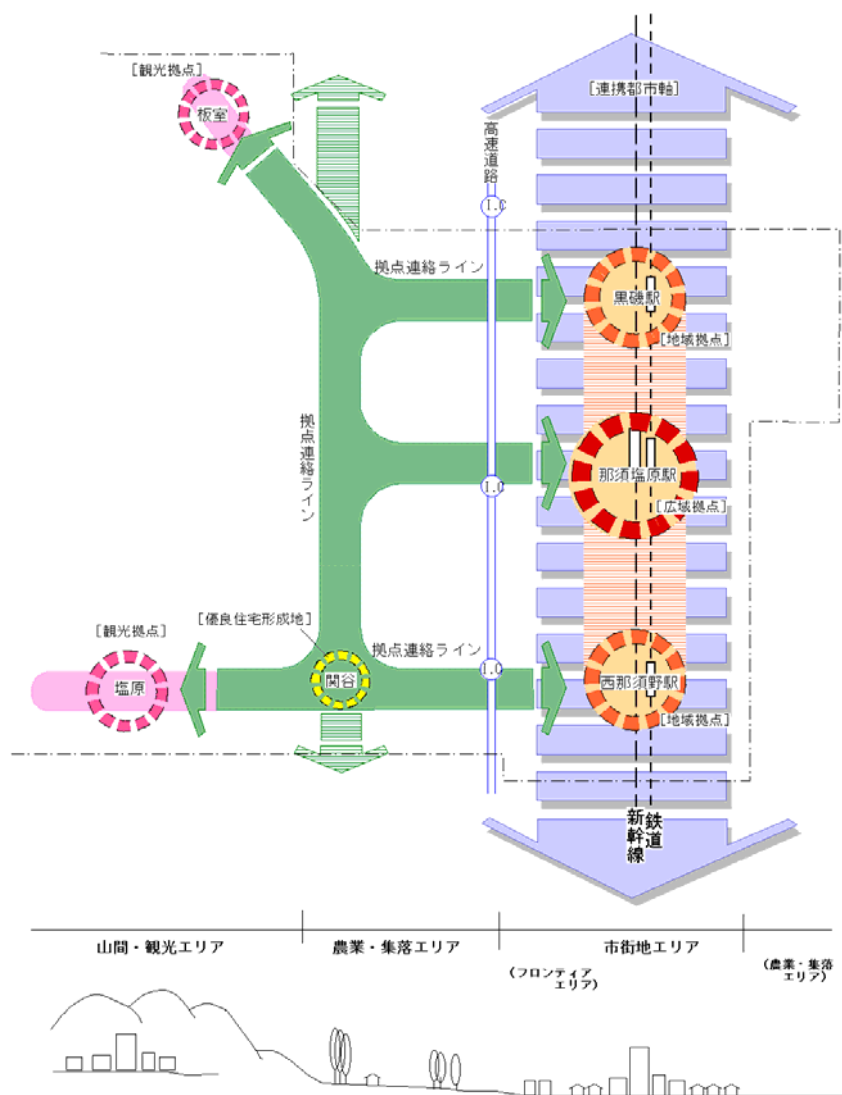
人と自然がふれあうやすらぎのまち那須塩原

■新市のまちづくりの目標

- 恵まれた自然環境と共に生きるまち
- 様々なライフスタイルの住民が安心して快適に暮らせるまち
- 人と文化を育む、ふれ合いと交流のまち
- フロンティア精神を発揮し新たな活力を創造するまち
- 将来に向けた礎（社会資本）を備えたまち

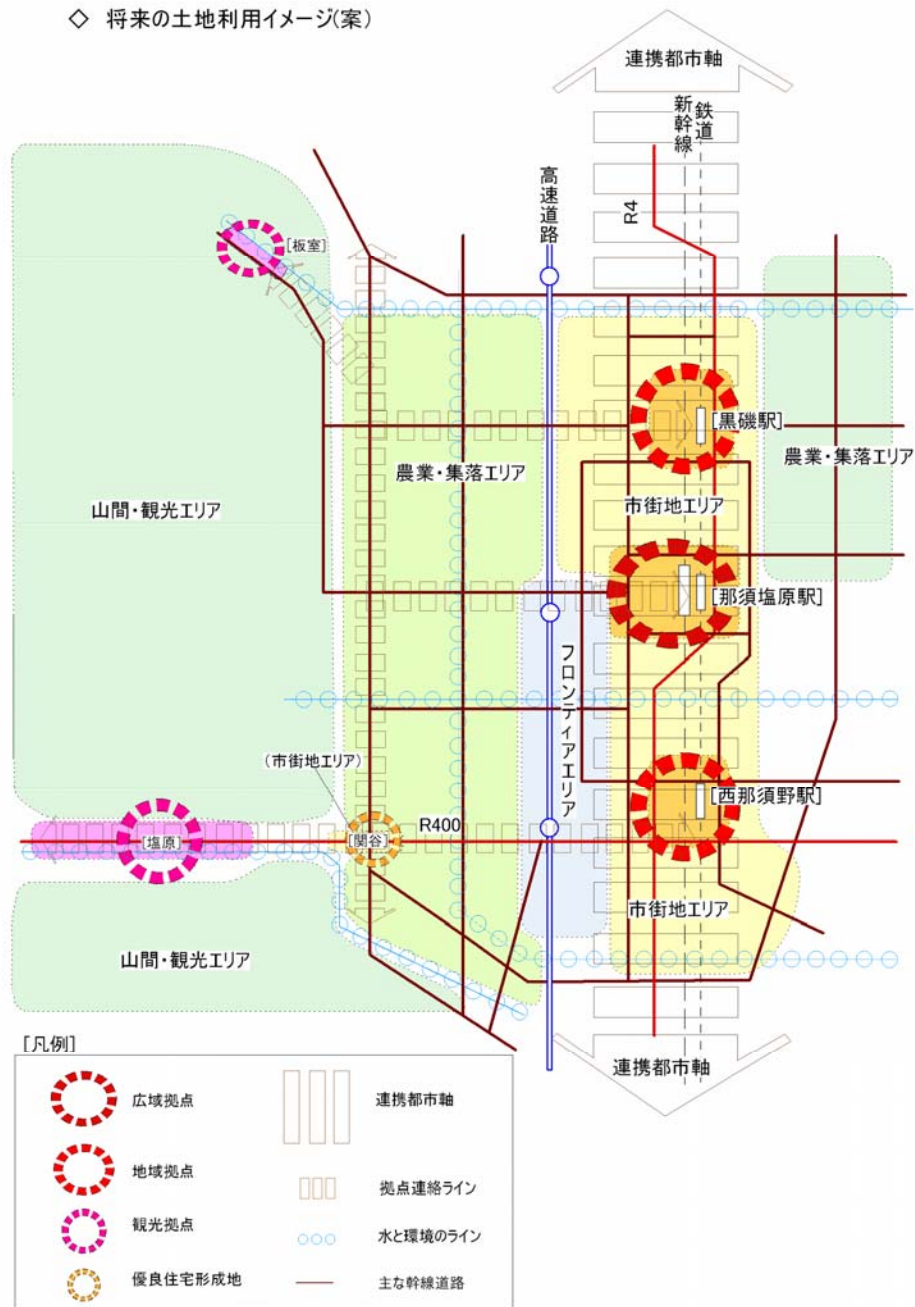
■将来都市骨格（案）：

- 拠点… 3つの市街地拠点と2つの観光拠点（都市機能集積及び特定の機能集積があり、人及び都市的活動が集中・分散し活動の拠点となる地区）
 - ・市街地拠点…那須塩原（駅）拠点 …広域拠点…新市と県北の拠点
 - 黒磯拠点 …地域拠点
 - 西那須野拠点 …地域拠点
 - ・観光拠点 …塩原拠点
 - 板室拠点



■将来の土地利用方針

◇ 将来の土地利用イメージ案



◆市街地エリア

多くの人々が住み、商業、工業、観光業など都市的活動が、主に展開されるエリア

◆フロンティアエリア

(仮)黒磯 I.C の設置、国会等の移転、広域拠点の創出などのインパクトによる新たな機能立地等を受止めるエリア

◆農業・集落エリア

那須野が原ならではの景観・環境を有する、農業生産と集落のエリア

◆山間・観光エリア

豊かな自然環境や森林資源と、温泉観光拠点がある山間部のエリア

■骨格道路網のイメージ

新市における暮らしや産業活動等や県北部の拠点都市として成長を支え、新市の一体化、均衡ある発展を促進する道路網の整備を進める。

- 連携都市軸を強化し新市の一体化を図る道路整備（ラダー状の道路・環状道路形成）
- 地域間を広域的に連絡する道路整備（拠点連絡ラインを強化する道路整備）
- 広域アクセスを高める道路等の整備
- 道路計画の策定
- 地域内の主要な道路の整備

